

5 農業生産

(1) 農業産出額

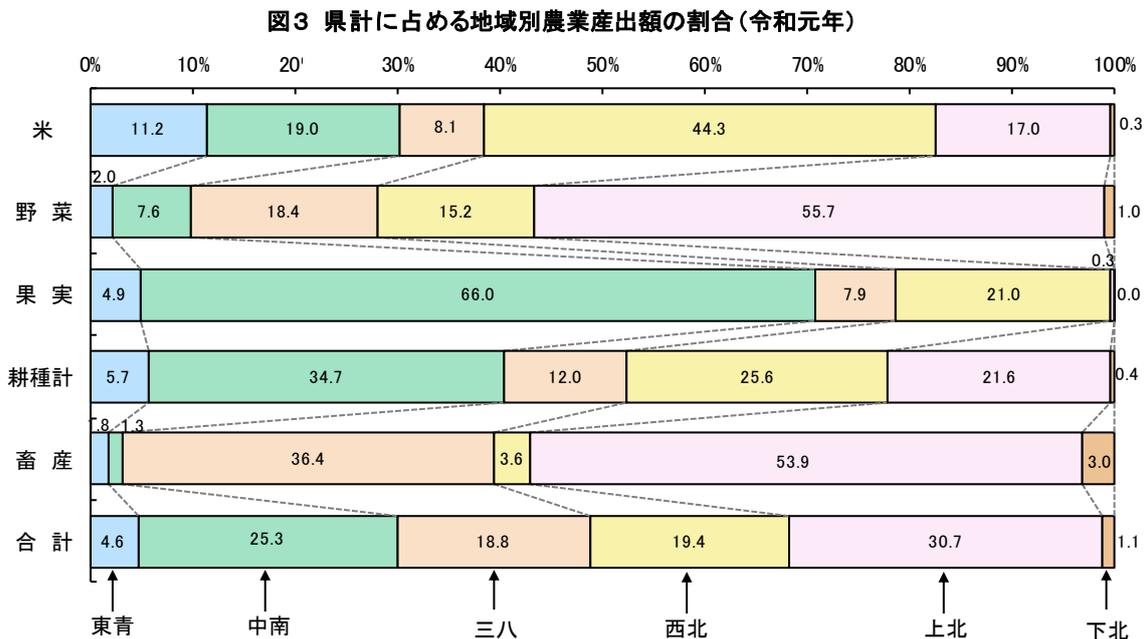
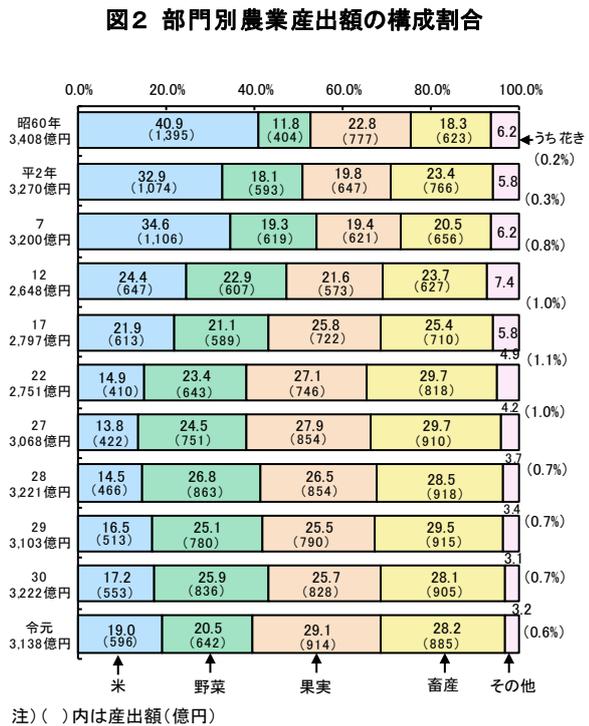
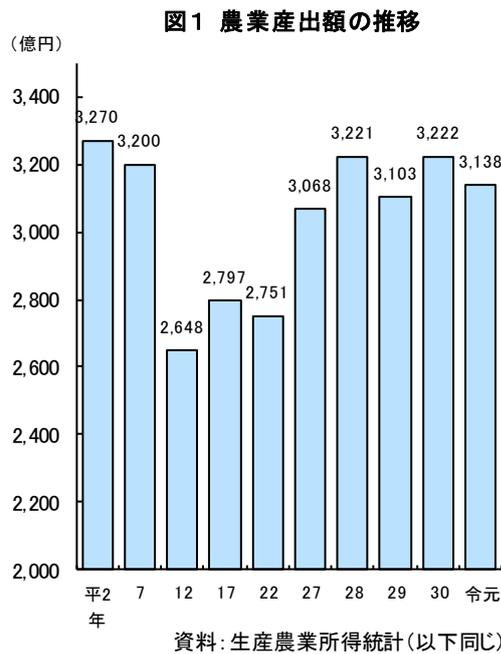
～農業産出額が増加傾向～

令和元年の農業産出額は3,138億円で、5年連続3千億円を突破した(図1)。

産出額の構成比は、果実が29.1%、畜産が28.2%、野菜が20.5%、米が19.0%となっている(図2)。

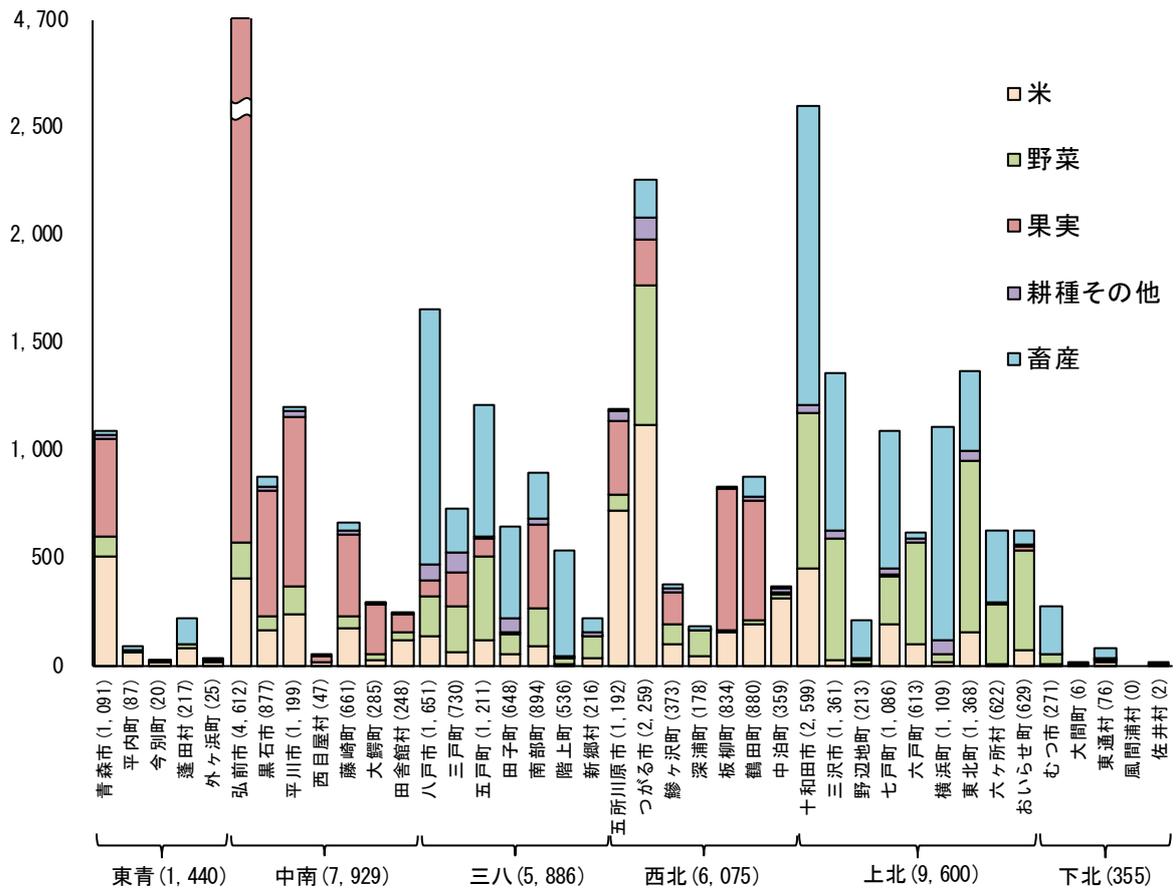
県全体の農業産出額に占める地域別の農業構成割合は、上北地域が30.7%と最も多く、続いて中南、西北、三八地域の順となっている(図3)。

市町村別の農業産出額は、弘前市が約461億円で最も高く、続いて十和田市(260億円)、つがる市(226億円)の順となっている(図4)。



(千万円)

図4 市町村別農業産出額(令和元年)



注) ()内は産出額(千万円)

(2) 生産農業所得

～生産農業所得は1,162億円～

令和元年の生産農業所得は、前年に比べ11.1%減の1,162億円となった。生産農業所得率は、前年に比べ3.6ポイント減の37.0%となった(図1)。

また、平成27年の農家1戸当たり生産農業所得は約299万円となり、22年に比べ116万円増加し、東北・全国に比べても高い状況が続いている(図2)。令和元年の耕地10a当たりの生産農業所得(土地生産性)は前年と比べ1.0ポイント減の7.7万円となった(図3)。

